

青森県中小企業家同友会

DOYU

あおもり

2019 Oct

10

vol.223



- 01 第18回経営研究集会
- 05 企業見学ツアー
- 06 経営労働問題全国交流会in岩手

第18回経営研究 集会開催報告

10月10日（木）、秋晴れの空のもと第18回の「経営研究集会」が開催されました。青森同友会最大の学習行事である研究集会は県内各支部の持ち回りで運営され、今回は5年ぶりの八戸開催となり、延べ134名が参加しました。

基調講演には香川同友会より、代表理事で中同協の経営労働委員長を務める香川県ケアマネジメントセンター（株）代表取締役の林哲也氏を迎え、第1分科会でも報告していただきました。他には青函から若手経営者2名が報告に立った第2分科会、外国人材の採用についての実践報告が行われた第3分科会と幅広い学びが展開されました。

延べ128名の参加者を前に、実行委員長を務めた南風農園代表の水野浩司氏は「各支部の皆さんのご尽力で大変良い学びの機会を設けることができた」と歓迎の言葉を述べ、盛会のうちに幕を閉じました。



基調講演

基調講演

「地域に生きる企業づくりへの覚悟、実践」

香川県ケアマネジメントセンター

代表取締役 林 哲也 氏

報告者である林氏は、自身のボロボロの社会人船出の経験から①給与は欠配・遅配しない②部下・社員の責任を追求しない③人様を消耗品と思ってもならないという経営者の心情を固めます。同友会の労使見解に導かれながら指針書づくりを始めますが、売上や作業のための理念、社内現状否定の渴望的な理念、社員に「やらせる」ための理念から「どのような役に立つ事業をしているか」を議論できるまで9年を費やしました。

現在の厚さ1センチを超える経営指針書を実際にお持ちになり、参加者全員が拝見させていただきました。①経営指針②法人・部門・個人③就業規則等の三部からなり、特に個人の10年後のライフビジョンや最後には日本国憲法まで載っているものでした。

中同協の経営労働委員長を務める林氏からは、「働く環境づくりのガイドライン」の提起から、経営の結果のしわよせの労働環境となつてはいないか？労基法だけ守れば良いのか？給与はコストか？などの問いかけもありました。「人を生かす就業規則」とは会社を守るためのリスク対応型ではなく、社員との作成見直しを通して意思疎通をはかり、信頼関係を構築し、新たな相互信頼へすすむ取り組みであり、希望の持てる安全基準でなければならぬという報告でした。

最近では他の経営者からも、いわゆる「モンスター社員」の話も聞いており、私自身、就業規則は会社を守るためのものだと思っていたので、今回のお話しは目から鱗でした。確かに社員は「敵」ではなく「パートナー」でなければいけません。日常的な労使関係の中で信頼関係を構築しなければならず、私たちは経営者としての経営姿勢も改めて見直す必要があると感じました。これから働き方改革により法律もどんどん変わっていく中で、ますます厳しい時代が予想され、さらに就業規則の大切さが伺えます。

最後に、事例としてお話しいただいた中に、経営計画に5年後10年後のビジョンと社員とその家族の年齢が載っている表があり、大変イメージしやすいと思いました。指針書は何のための、誰のためのものであるかという事です。そして「企業は、社会貢献する場、社員の暮らしを守る場、働く人が人間的にも成長できる場」という故・赤石義博元中同協会長の言葉が心に響きました。

記：(株) エーアンドエム 木村美栄子



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字諏訪沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

第1分科会

第18回経営研究集会

第1分科会

香川県ケアマネジメントセ

ンター(株)

代表取締役 林 哲也氏



テーマ

「人を生かす就業規則と経営指針」

△林氏の報告から▽

従来は就業規則を作成することを義務として考え、最低限必要な事項を記載し、社長や総務の棚に保管、社員の閲覧には消極的でした。また「リスク対応型就業規則」とは社員が残業手当で生活費を稼ごうとするのを阻止し、傷病規則はリスクの回避を目的として設定され、社員の健康を守る目的で作られておらず、「社員は経営の敵だから会社を守らなければならない」との考えで策定されていた。

一方、人を生かす就業規則と

は、社員とともに就業規則の作成・見直しを行うことを通して、積極的に働く環境についての改善と意思疎通をはかり、社員との信頼関係を構築し、新しい次元の相互信頼へと進んでいく取り組みで、その本質は人を生かす経営です。人を生かす経営とは人間尊重経営の実践であり、社員の生活を保障するとともに、高い志気のもとに、社員の自発性が発揮される状態を企業内に確立して、社員一人ひとりが持てる能力を発揮できるようにすることです。ただ、就業規則は単なる契約書と同じなので、なかなかワクワクしません。就業規則は経営指針書、ガイドラインと一体となってこそ力を発揮します。「働く環境づくりの手引き」を参考に、社員と一緒に人として、家庭としての10年後、社員自身の10年後の立ち位置、会社としてどうあるべきかを語り合ひましょう。

記：(株)加藤商店 加藤 人士



△座長のまとめ・感想▽

「現在の同友会の指針づくりには必ず10年ビジョンが出てきますが、大変難しいものとして捉えていたのかなと感じました。社員の生活や考えているビジョンを共有することによって、自分たちの会社がどうなればよいのか、社員と目線を合わせながら「5年先、10年先どうなっている？」という話題が飛び交ったなら、もっと会社が良くなる方針が見えてくると思います。社員がわくわくできる経営指針書をつくり、会社の仕事にわくわくするものにしていかなければいけないと感じました。」

経営指針書を拝見し、かなりの厚さに驚きました。経営指針の後に、第2部として就業規則が付いていて、経営指針を見直すときに一緒に就業規則も見直しができるよう、またいつでも社員が見られるようにと工夫されたものでした。就業規則に関しては、会社側が作成し一度作ればそのままになりがちですが、会社の諸課題への方針について社員との話し合いを大切に

して会社の方針を決めていることに感心しました。

また、社員から10年後のビジョンを聞くことで、そのときに会社はどうなっていなければならないかを考えると共に、働く環境づくりが必要になります。就業規則は社員にとって働きやすくビジョンが見え易いものである必要があると感じました。社員とビジョンを共有し社業に誇りを持って働くことで、顧客や地域から必要とされる会社に成長していきたいと思っています。

記：(株)電化堂 上久保 聖一



有限会社 工藤板金工業

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼 22-17
TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833
<http://www.kudou-bankin.co.jp/>



屋根
外壁
板金
リフォーム

第2分科会

第18回経営研究集会

第2分科会

(有) UPSTART COMPANY

代表取締役 佐藤 将道 氏



(有) 丸喜 阿保商店

代表取締役 阿保 貢 氏



テーマ

「経営理念は企業体質にどう効くか」

「経営理念は企業体質にどう効くか」というテーマで北海道同友会・函館支部 佐藤将道氏と青森同友会・青森支部 阿保貢氏に、座長の青森支部 鹿内史芳氏から質問をして答えて頂くという形で始めました。報告内容としては、佐藤氏の起業家の立場からの経営指針

の活用の仕方や、事業承継した阿保氏の経営理念をすることに持って持てたことができた覚悟や会社を通しての自分の夢の明確化という、それぞれの実践を通じた生の声を聞くことができました。

佐藤氏が手掛ける事業は飲食店やイベントの物販のほか人材派遣会社など多岐にわたっています。そのためグループとしての理念を作成したそうですが、経営目的・経営理念・VISIONの3本立てになっているそうです。社内の信頼関係が強いという強みの中、各ポジションでの社員の役割がしっかりと定義されていました。モチベーションの向上のため、グループ全体でのVISIONを作成し、10年後にはこうなるだろうという数字まで細かく示しているそうです。経営理念はこのように会社の成長する大きなきっかけと道標になると感じました。

分の夢や目的がはっきりしたと語りました。連携力を高め社業を通して地域を良くしていくために働いていると、すっきりとしたそれでいてこれからの次のステップに夢のあるワクワクするお話でした。

グループ討論では今回函館からの参加者も多数いたので、違う地域で会社を経営する方と討論できたことも大切な時間でした。自社がどんな会社でありたいか、そしてそのためにどう取り組んでいるのかを話し合いましたが、千差万別で同じ答えはありませんでした。100年続く会社になりたい、社員が一生この会社になりたいと思ってくれる会社になりたい、お給料をたくさんあげたいなど、様々な会社があり、みんな違ってみんないい！と思いました。



記：(有) オクト 鹿内麻矢

行ってきたからこそ会社が成長してきたのだと感じました。今回のテーマである「経営理念は企業にどう効くのか」を実感するために、改めて地域との関わり合いや社員さんとの関わり合いをもっと深めていかなければならない、企業の強みを活かして、社員さんの未来が見える指針書づくりをしていきましょうとまとめられていました。

今回の基調講演・分科会共に大変有意義な経営研究集会でした。準備をした八戸支部の皆様お疲れ様でした。そして参加できたことを会社と同友会に感謝します。ありがとうございます。

産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21
東管工業株式会社
代表取締役 蛭 沢 宮 行

TEL 0175-63-4450
FAX 0175-63-4467

第3分科会

第18回経営研究集会

第3分科会

(株)サン・コンピュータ

代表取締役社長 三浦 克之



テーマ
「外国人採用は、わが社をどう変えるか」

△三浦氏の報告から▽

人手不足と言われる昨今、データを見ると中小企業にはなかなか人材が回ってこない現状があります。対応策として「あらゆる作業の効率化」は可能性がありますが、それにも限界があり、モチベーションの向上や残業・休日出勤での対応は現実的に難しくなっていくと思われます。

その様な中で外国人雇用を視野に入れて企業も増えてきています。当社では今春、フィリピンから3人の新卒者を採用しました。その経緯と流れをお話します。

割が技能実習生や留学生のアルバイトです。新しい制度として出てきたのが「特定技能1号または2号」というものです。技能実習は国から認定を受けた送り出し機関があり、実習期間は転職ができません。それに対し特定技能は受け入れ企業が採用から各種手続きの全てを自社で行わなければならない、加えて転職も可能です。

弊社では、2017年2月に現地での大学訪問をスタートし、書類審査、学生面接、採用まで約1年かかりました。またフィリピンには独自のルールとして海外雇用庁からの認定が必要となり、雇用条件や就業者への支援計画の作成、提出があります。渡航費や書類の英訳、その他の支援費がかかり非常にコストが掛かりました。その上、数年して技術をマスターしたら転職されるリスクもあります。とはいえ、この取り組みによるメディア露出の宣伝効果やイメージアップ、日本人社員が刺激を受けて学ぼう向上心が出たりとメリットもありました。将来的な海外委託事業の架け橋となる人材育成への投資とも考えていま

す。

弊社では日本人採用も毎年行っています。マッチングの機会を得るために安く無い額の経費もかけています。採用してからも社内外合わせて6ヶ月の研修も実施しています。これからの中小企業は、費用をかけなければ良い人材の採用と定着には繋がらないと考えています。

外国人雇用は「日本人の替わりの安い労働力」と考えてはやっていけません。また、転職のリスクは日本人も外国人も同じで「人財をどう定着させるか」という点で経営者は真剣に考えなければならぬと思います。私は、人財の定着は「企業の魅力次第」だと思います。その企業の魅力を作っていくのも経営者の仕事です。

△座長のまとめ▽

アジア全体が成長している中で、優秀な人材はより良い環境の国へ流れる時代になっていくと考えられます。今後の外国人雇用では「安い労働力」という視点ではなく、何のために雇うのか?と目的を明確にし、将来の企業発展のための投資という視点・意識が必要になって

くると感じました。また、三浦社長のお話の中で「社員の定着は企業の魅力次第」という言葉がありました。採用やファン作りのための外部へ発信する情報と、実際に社員となつてからの会社の実情に差異があつてはならないと感じました。

記：(株)八幡馬 高橋利典



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>



企業見学ツアー

9月21日、昨年に引き続き三本木農業高校の生徒を対象とした「企業見学ツアー」がジョブカフェあおもりとの共催で実施されました。今回は生徒15名が参加し、上十三地域の7社を見学しました。普段目にするのではない、一歩踏み込んだ会社の内部を目の当たりにした生徒からは歓声が上がっていました。



△見学先企業（見学順）▽
漆畑ファーム（株）、（有）岩木建設、（株）日本の窓、（一社）日々木の森、（株）KAWACHO RICE、三沢航空科学館、（株）附田生コン

2020年新春例会開催決定

日程 2020年2月7日（金）

開催地 青森市

報告者

北泉開発（株）

代表取締役 曾我部元親 氏

（一社）北海道中小企業家同友会くしろ支部幹事長

地域課題を可能性に変える

時間軸を意識した事業展開

挑戦の意欲が湧いてくる講演会です！



A-SETU
青森設備工業株式会社

水の問題、迅速解決!!

もう、水まわりの心配はさせません。
☎ 017-766-2421

ART DESIGN

株式会社 **アイサイン**

Call 0172 62-5508 Fax 62-5516
Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡 82-1
URL <http://www.ai-sign.com> MAIL design@infoaomori.ne.jp

Welcome to DOYU!

新会員紹介

株式会社 0172 【津軽支部】



代表取締役 井上 信平

県外出身者が多い会社です。

本社/ブランディング事業部
〒036-0241 平川市八幡崎松枝 42-1 2F
Tel.0172-57-4783 Fax.0172-88-5075

株式会社 I・M・S 【津軽支部】



代表取締役 三上 友子

平成17年の創業以来、企業研修や職場定着支援を手掛けております。

〒036-8182 青森県弘前市土手町 134-8
TEL/FAX 0172-32-5801 / 0172-88-6421
<http://www.lms-hirosaki.com>

K・フロスピ株式会社【青森支部】



代表取締役 小枝 花奈

地元の皆様に支えられて、おかげで設立10年目を迎える事ができました。ありがとうございます。

〒030-0901 青森市港町1丁目2番8号
TEL: 017-762-7226 FAX: 017-762-7228
<http://kfrospi.jp/>

株式会社アサヒ燃料商会【青森支部】



代表取締役社長 堀越 勇平

弊社は1967年7月創業、LPGガス・石油・住宅設備機器販売及び不動産業を営んでおります。

〒030-0962 青森市佃2-15-21
TEL017-743-1990 FAX017-743-1994
<http://www.asahi-e-aomori.com>

ヤマモト食品 株式会社【青森支部】



代表取締役 山本 浩平

「ねぶた漬」や「味よし」など数の子を中心とした水産加工品の製造、販売をしております。

〒039-3503 青森市大字野内字浦島 56-1
TEL: 017-726-5581 FAX: 017-726-5575
<http://www.yamamoto-foods.co.jp/>

ラム・システム株式会社【津軽支部】



常務取締役・COO 對馬 大樹

◎業務用ソフトウェア開発
◎OA機器、事務用品販売
◎貼産品ネット通販「まごころふるさと便」運営

〒036-0325 黒石市青山 126-2
TEL 0172-53-1755 FAX 0172-53-1163
<https://ramcojp.jimdo.com/>

(有) 岩田広告社 【青森支部】



代表取締役 岩田 満

【仕事の紹介と特長】
テレビ・ラジオ・新聞の広告代理業務
印刷、販売促進の企画制作立案

〒030-0901 青森市港町2-15-19
TEL: 017-743-3521 FAX: 017-743-3507
<http://www.iwaco.jp/>

株式会社 三村興業社【上十三支部】



代表取締役 小笠原 國男

土木工事を主体とした建設会社です。特に造道など、海関係の工事は長年の実績があります。

〒039-2224 上北郡おいらせ町下明堂 30-10
TEL 0178-52-5751
FAX 0178-52-2774

青森三菱電機機器販売(株)【青森支部】



代表取締役社長 林 均

当社は、最先端のテクノロジーを目指し、地域と共に発展を環境づくりに取り組んでいます。

〒030-0822 青森市中央1丁目23-4
TEL: 017-735-7868 FAX: 017-735-7855
<http://www.ame.co.jp/>

青森都市開発(株)【下北支部】



三浦 博

下北地域を中心に、不動産事業を展開しております。
地域の発展に、お役に立てる会社を目指し引き続き頑張っております。

〒035-0051 むつ市新町 43番 10号
TEL: 0175-22-8094
FAX: 0175-22-8096

東北ボール(株) 青森営業所【青森支部】



所長 寺山 健康

東北ボール社の事業内容です。
「コンクリートパイル、ボールの製造、販売、施工」

〒030-0861 青森市長島二丁目25-1
TEL 017-722-4258 FAX 017-773-2931
<http://www.tohokupole.co.jp/>

東北三吉工業株式会社【上十三支部】



代表取締役 田沢 英治

大小金属製品全般の製作可、多品種のものを短期間対応できます。

〒039-1524
青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平 1-622
TEL0178-62-2545 FAX 0178-62-6054
<http://www.tomiy.com/>

(株)日専連旅行センター【青森支部】



代表取締役社長 長内 利隆

「日専連グループ」を中核とする日専連グループの一社として「旅行」を中心に展開しております。法人のお客様を中心とした旅行、個人のお客様を中心とした旅行、それに個人のお客様の旅行代理店として、お客様の旅行に貢献するべく活動しております。

〒030-0801 青森市新町 2-7-16
TEL017-735-1154 FAX 017-777-2700
<https://nissennren-travel.jp/>

編集後記 今回のDOYU あおもりは、経営研究集会特集号です。参加出来なかった方や、他の分科会の報告内容も聞きたいという人の為に、感想だけではなく、基調講演や各分科会報告内容も要点をまとめて記事にしました。

有限会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>
廃棄物業・総合リサイクル業

本社/〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579
南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平1-578
TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295